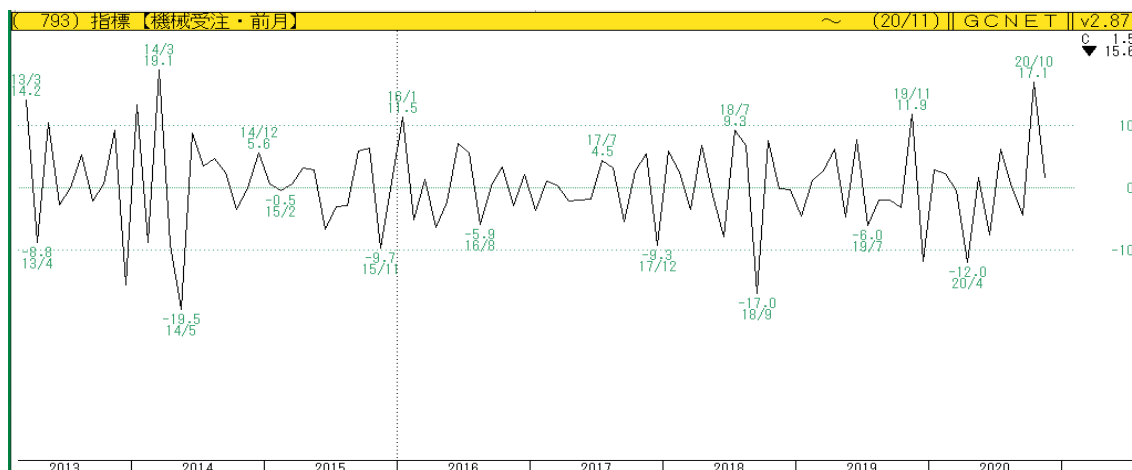


(令和3年01月18日)

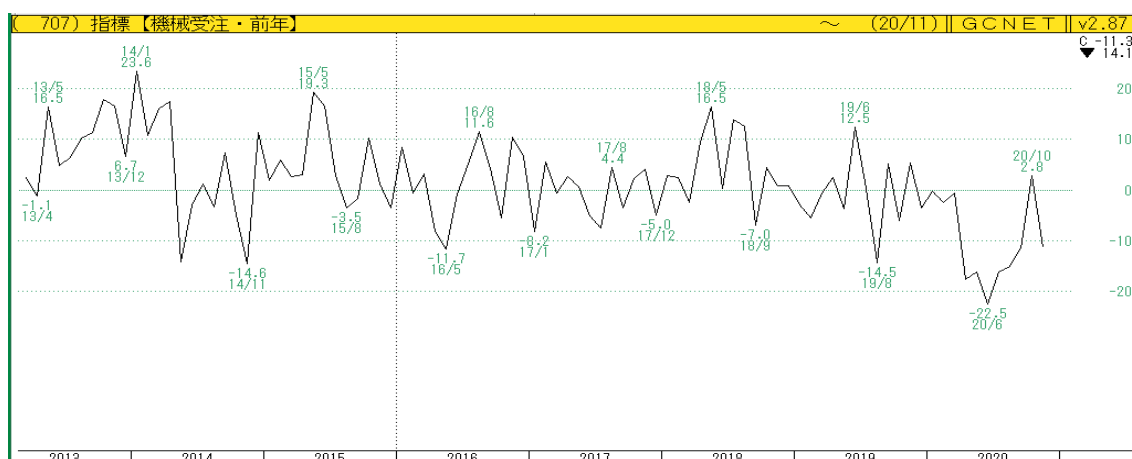
< ワンポイントレッスン (実践) >

< 2020年11月の機械受注動向 >

機械受注 (船舶・電力を除く民需) 対前月比



機械受注 (船舶・電力を除く民需) 対前年同月比



- ・内閣府が14日に発表した20年11月の機械受注統計。民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、前月比で10月17.5%増の後11月は1.5%増。同様に対前年同月比でみると、10月2.8%増の後、11月は▼11.3%減でした。前年同月比は、10月に初めてコロナショック前の水準を達成、11月は再度2桁マイナスに。振れの大きな統計ですが、安定して落込み前の水準維持となって欲しいものです。
- ・なお、こうした中、外需が好調。11月は前月比5.9%増、前年同期比25.4%増加。
- ・また、受注総額では対前年同期比、9月以降▼1.1%、▼0.6%、▼0.2%でショック前の水準に回復。民需の回復が待たれるところです。